

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 34,146 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
在日アフリカ人共生・協働事業	「アフリカンキッズクラブ」では、「キッズ&ユース交流会」など、子どもや保護者が集い、共に楽しみ、経験・悩みを共有する場を作った。また、LINE グループなどで情報交換を行い、子育てや髪の手入れなどについてサポートし合った。ウェブサイトやSNSを通して活動や情報を発信した。	2023年4月～ 2024年3月	東京および全国各居住地	13	アフリカにルーツを持つ子ども・若者・保護者、在日アフリカ人、市民	500	514
	「アフリカンキッズクラブ関西」では、交流の輪を広げ、「じゅりあ先生とアフロダンスを踊ろう!」は、オンラインで5回、対面(大阪)で1回開催。「アフリカンキッズクラブ東海」では、バーベキュー交流会などを行った。	2023年4月～ 2024年3月	関西地区、東海地区および全国各居住地	15		300	
	アフリカにルーツをもつユースによる交流会やイベントの実施、大学でのゲスト講義、情報発信などを行い、経験や思い、マイクロアグレッションについてなど伝え、共に考えた。キッズや保護者と合同で集まる機会を作った。	2023年4月～ 2024年3月	東京および全国各居住地	10		700	
	在日アフリカ人コミュニティと協力し、アフリカ理解の促進、交流の輪を広げ、情報提供や情報交換を行った。なんみんフォーラムや移住連などと連携し、生活に困難を抱える難民・移民への支援、人権擁護や政策提言、他団体へのアフリカに関する情報提供などを行った。	2023年4月～ 2024年3月	東京および全国各居住地	10		500	
ネットワーク形成事業	国際保健のための市民社会ネットワーク「グローバルヘルス市民社会ネットワーク」やJANIC、SDGs 市民社会ネットワークに参加し、情報共有を行った。G7、G20等に向けた市民活動に参加し、アフリカの団体を含む世界の市民社会との連携を強化した。	2023年4月～ 2024年3月	東京、長崎、広島、その他国内外の団体活動地	4	国際協力団体、国際協力に従事する個人、国際保健課題に関心のある市民	700	1,745
	TICAD-NGO 連絡グループの事務局を担い、TICAD9 に向けて共催団体や日本・アフリカ市民社会との連携を強化した。	2023年4月～ 2024年3月	東京	5	国際協力団体、国際協力に従事する個人、市民	70	
	国内外、個人のネットワークづくりとして埼玉県蕨市のガーナ料理屋にて秋の交流会2023を開催した。	2023年10月	関東各居住地	6	AJFの会員や紹介を受けた市民	30	
アフリカ調査・研究事業	三大感染症に取り組む東アジアの市民活動調査を行い、今後の同地域での提言活動に資する市民社会ネットワークを発足させた。国際保健政策の最新情報に関する調査記事を合計24本執筆し、月に1回、メールマガジン『グローバルエイズアップデートプラス』を発行した。	2023年4月～ 2024年3月	東京	5	国際協力、保健課題に関心のある市民	400	6,098
	「世界食料デー」月間の呼びかけ団体として他市民団体、FAO、横浜市とともにイベントを開催した。FAOの資料を読む学習会を継続し、アフリカの食と農の現状について情報を発信した。同学習会はほぼ毎月実施し、一部訳をウェブサイトに掲載したり、専門家を招いたセミナーを開催した。土壌のリン循環に関する南アフリカ調査に協力し、現地団体との調	2023年4月～ 2024年3月 「世界食料デー」月間は10月	東京神奈川 南アフリカクワズル・ナタール州	12	国際協力、食料・農業に関心のある市民 南アフリカの農民	300	

	整業務を行った。							
	アフリカ熱帯林の課題に関して、現地のNGOと連携し、現地野生生物保全や日本国内の各種イベントに参加し、また関連チラシを配布し、関連セミナー等の主催や告知、関連メディア情報の収集等を通して、普及啓発活動や情報提供を行った。	2023年4月～ 2024年3月	東京		3	国際協力、環境保全に関心のある市民	300	
政策提言事業	UHC、グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）の第8次増資会合に向けて、前期誓約分への必要な資金拠出を行うよう、国内外の団体と連動して提言を行った。	2023年4月～ 2024年3月	東京		5	国際協力、国際保健課題に関心のある市民	100	24,269
	「公正な医療アクセスを世界のすべての人に！」連絡会の事務局を担い、公正な医療アクセスを求める運動に取り組む国内、海外の市民社会とともに、パンデミック交渉等の機会を通してさまざまな取り組みを行った。	2023年4月～ 2024年3月	東京		5	国際協力、保健課題に関心のある市民	500	
	西サハラなど主権や自己決定権が脅かされているアフリカの地域や人々、関連団体との連携を強化し、啓発のためのセミナーやイベントの開催に協力して日本の政策変化に向けた環境整備を行った。	2023年4月～ 2024年3月	東京		5	国際協力に関心のある市民	300	
アフリカ理解促進事業	会報『アフリカNOW』を2回、冊子とデジタル媒体（PDFファイル）で発行した。ウェブサイトで最新号とバックナンバーを紹介し、販売した。	2023年4月～ 2024年3月 発行：7月、2月	東京		8	会員およびアフリカに関心のある市民	400 /各号	551
	ウェブサイトを更新し、AJFの活動とイベント等を紹介するとともに、多様な情報や資料などを提供した。	2023年4月～ 2024年3月	東京		8	ウェブサイト訪問者	7000 /月	
	グローバルフェスタ JAPAN2023 にブースを出展した。	2023年4月～ 2024年3月	東京、他		5	会員およびアフリカに関心のある市民	50000	
	メールマガジン‘AFRICA ON LINE’を毎週月曜日に発行し（計51回）、アフリカに関するイベント、文化情報などを提供した。	2023年4月～ 2024年3月 の毎週月曜	東京		5	国際協力関連のイベントの参加者	2500	
	アフリカに関する重要なトピックについての紹介を「アフリカニュース発掘部」として行い、メーリングリストやウェブサイトを通じて月1回のペースで発信した。	2024年1月～ 2024年3月	東京		4	市民、市民団体、学生	300	
アフリカ支援事業	レソトのLGBTIQ+活動家を招聘し、W7&C7への参加を支援した。西サハラ友の会に協力し、学生同盟代表の招へい・全国ツアーを支援した。	2023年4月～ 2024年3月	東京		5	レソトLGBTIQ+活動家 西サハラ学生同盟代表	100	515

※上記のほか、共通事業費が、454千円